



令和2年1月16日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部
総務広報課長

第6回設備サポートセンター整備事業シンポジウムの開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学は、文部科学省「設備サポートセンター整備事業」（平成29年度～令和元年度）により、全学的な設備マネジメント機能を強化し、地域ニーズに応える研究推進及び人材育成ならびに産学官にわたる設備サポートを推進しています。さらに、宮崎県内に所在する公設試験研究機関（9施設）、都城工業高等専門学校、宮崎県機械技術センター、食の安全分析センターと連携した「みやざきファシリティネットワーク（みやざき FNet）」を平成28年8月に設立し、地域課題解決やイノベーション創出に向けた高度分析技術を提供できる環境を実現し、宮崎県内の更なる研究振興と産業振興に取り組んでいます。

文部科学省の同事業は、平成23年度にスタートし、全国で20大学（延べ23事業）が採択され、各大学独自の取組が進んでおり、年1回開催されるシンポジウムにおいて、活発な議論と情報交換が行われ、設備サポートの重要性の認識の高まりとともに課題も明確になってきています。第6回目となる本年度は本学が開催校となり、みやざき FNet との共催により開催します。

シンポジウムには、文部科学省関係者や宮崎県知事をはじめ、同事業に採択されている全国各大学や県内公設試験研究機関などから約150名が一堂に会し、「研究基盤戦略の新潮流を探る～設備サポートセンター整備事業から得たものと未来 Vision～」と題して、「設備共同利用、研究体制強化」に関する課題を解決するための情報交換・情報共有、そして発展に資する提言を行うこととしております。

つきましては、下記のとおり開催いたしますので、取材してくださいますようお願いいたします。

敬具

記

開催日時 令和2年1月30日（木）13時30分～18時20分
場 所 宮崎観光ホテル 東館3階 翠耀の間
参加者 文部科学省関係者、宮崎県知事、同事業採択大学関係者、県内公設試験研究機関等

※詳細は別紙資料をご覧ください。

※同日午前には、これまで開催されてきた様々な研究基盤関連集会での知見を共有し、各機関で実行に移すための具体的な方策について「フラットに継続して議論していく場」として、研究基盤イノベーション分科会（第1回）を併催します。

- | |
|---|
| ① お問い合わせ先
宮崎大学連携研究設備ステーション事務局（今井、出水）
TEL：0985-58-7270
E-mail：fsc-uom@of.miyazaki-u.ac.jp |
| ② 発信元
宮崎大学企画総務部総務広報課広報係
TEL：0985-58-7114 FAX：0985-58-2886 |

研究基盤戦略の 新潮流を探る

～設備サポートセンター整備事業から得たものと未来Vision～

文部科学省「設備サポートセンター整備事業」の採択を受け、教育研究設備の共同利用体制構築に積極的に取り組む全国各地の大学が一同に会し、「設備共同利用、研究体制強化」に関する課題を解決するための情報交換・情報共有、そして発展に資する提言を行います。

日時：令和2年1月30日（木）13:30～18:20

場所：宮崎観光ホテル 東館3階 翠耀の間（アクセスはこちら）



参加申込は以下のURLで（1月17日までに）

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/crcweb/fsc-uom/>

（ホテル、航空券の予約をお急ぎください）



併催：研究基盤イノベーション分科会(第1回)
9:00～12:00

トップダウン・ボトムアップの役割について、これまで開催されてきた様々な研究基盤関連集会での知見を共有し、各機関で実行に移すための具体的な方策について「フラットに継続して議論していく場」として、研究基盤イノベーション分科会(第1回)を併催させていただくことになりました。詳細は追って連絡させていただきますので、ぜひご参加ください。
企画担当：東京工業大学 江端 新吾、宮崎大学 境 健太郎

シンポジウムプログラム (13:30～18:20)

開会挨拶 13:30～

宮崎大学 学長 池ノ上 克

来賓挨拶 13:40～

宮崎県知事 河野 俊嗣氏

基調講演 13:50～

【共同利用・共同研究体制の強化・充実について】

文部科学省研究振興局学術機関課 専門官 細野 亮平氏
大学研究所・研究予算総括係長/研究設備係長/研究支援係長

事業総括 14:20～

【宮崎大学の設備共同利用の現状と今後に向けて】

宮崎大学 理事/副学長
連携研究設備ステーション総括マネージャー 水光 正仁

依頼講演

14:50～

【現場からマインドセットを変える！（仮題）】

～設備サポートセンター整備事業シンポジウムという「場」の開発と技術専門職の重要性～

東京工業大学 理事・副学長 特別補佐
内閣府 政策統括官付上席科学技術フェロー 江端 新吾氏

ポスターセッション

15:35～

【得られた成果と今後の展開】

北海道大学/東京農工大学/名古屋工業大学/金沢大学/大阪大学/
広島大学/千葉大学/筑波大学/鳥取大学/高知大学/九州大学/
東北大学/神戸大学/群馬大学/岡山大学/東京医科歯科大学/
富山大学/京都大学/山口大学/宮崎大学

パネルディスカッション

17:00～

【研究基盤戦略の新潮流を探る】

- 事例紹介：北海道大学/群馬大学/鳥取大学
- 意見交換：

【パネリスト】

文部科学省/東京工業大学/北海道大学/鳥取大学/
群馬大学/宮崎県工業技術センター/宮崎大学
【ファシリテータ】

宮崎大学 副学長
産学・地域連携センター長 國武 久登

閉会挨拶

18:10～

宮崎大学 副学長
みやざき ファシリティネットワーク 國武 久登

情報交換会

18:30～20:00

会場：宮崎観光ホテル 東館2階 紅日向

施設見学会（希望者）

日時：令和2年1月31日（金）10:00～12:00

見学施設：宮崎県工業技術センター/宮崎県食品開発センター

主催：宮崎大学 URL: <http://www.miyazaki-u.ac.jp/>

共催：みやざきファシリティネットワーク

お問合せ：産学・地域連携センター 連携研究設備ステーション

TEL: 0985-58-7270

E-mail: fsc-uom@of.miyazaki-u.ac.jp



研究基盤イノベーション分科会(第1回)

～研究基盤を研究し、イノベーションを起こす仕組みの構築へ～

日時: 令和2年1月30日(木)9:00～12:00

場所: 宮崎観光ホテル 東館3階 翠耀の間

主催: 研究・イノベーション学会 研究基盤イノベーション分科会

後援: 東京工業大学、宮崎大学

タイトル及び発表者

< 前半: 9:00～10:15 >

1. 「研究基盤イノベーション分科会の趣旨説明および研究基盤に関する全国的な動向」
東京工業大学 江端 新吾
2. 「研究基盤政策に関する最近の動き」
文部科学省 黒川 典俊
3. 「機器分析センター協議会の取り組み」
千葉大学 榎 飛雄真
4. 「新共用事業連絡協議会の取り組み」
金沢大学 荒砂 茜
5. 「技術職員有志の会と大学技術職員組織研究会@米子の取り組み」
鳥取大学 丹松 美由紀
6. 「機器分析研究会における議論と分子科学研究所での取り組みについて」
分子科学研究所 大原 三佳
7. 「実験・実習技術研究会の取り組み」
鹿児島大学 尾上 昌平, 東京工業大学 清 悦久

< 休憩 20min >

< 後半: 10:35～12:00 >

8. 「RA協議会での取組み — 新たな学際研究を導くポストアワード力」
早稲田大学 丸山 浩平
9. 「研究大学コンソーシアムでの取り組み」
自然科学研究機構 小泉 周
10. 「国立大学法人の財務から見た施設・設備の現状と課題」
植草茂樹公認会計士事務所 植草 茂樹
11. 「設備サポートセンター整備事業シンポジウムでの取り組み」
宮崎大学 境 健太郎
12. 総合討論